

人と人が育ちあえる地域の拠点づくりを目指して

神奈川県相模原市

活動名

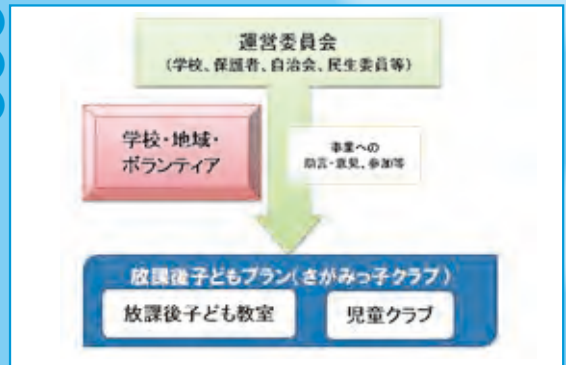
根小屋小学校放課後子どもプラン

関係する学校名

相模原市立根小屋小学校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	実施場所		学習支援		放課後児童クラブとの連携				
	低学年図書室		無		一体型				
	土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
コミュニティ・スクール	指定日					委員会	児童生徒数	学級数	

体制図



活動の概要
放課後の子供たちの安全で健やかな居場所づくりのため、また、放課後子ども教室事業と放課後児童健全育成事業を効果的に連携・協働して実施するため、平成20年9月からモデル事業として開始し、モデル実施期間の終了後も継続して実施している。

活動の経緯
学校施設を活用し、「遊びの場」、「交流の場」、「体験の場」として、異年齢の子供同士の交流だけではなく、地域の方たちの協力のもと、卓球教室、よみきかせ、ハーブ教室、ラグビー教室、着付け礼法教室、将棋道場など、様々な活動を行っている。

● 活動の特徴・工夫 ●

【特徴的な活動内容】

- ・子供たちが考えた種目で学期ごとに記録を競う「ほうかごギネス」や造形ブロックを活用した「造形コンテスト」、地域の文化祭に向けた「巨大作品づくり」など、子供たちが楽しく自分のエネルギーを注ぎ込めるようなプログラムを日々展開している。
- ・近隣保育園との交流を行い、園児は学童期のプラスのイメージや安心感をもつことができ、小学生は「お兄さん・お姉さん」としての自信をもつ機会となっている。
- ・昨年度は延べ165人の地域の協力者（ボランティア）が主体的・積極的に子供たちと関わってくれたほか、卒業生もジュニアボランティアとして「後輩たち」に関わっている。

【実施に当たっての工夫】

- ・子供たちに覚えてもらいやすいよう、また地域の協力者の方々が「事業のお手伝い」というイメージを払拭し、主体的に活動しやすいよう「さがみっ子サポーター」という愛称を付けた。地域の声を事業に直接的、積極的に反映していけるよう「さがみっ子サポーター会議」等、意見交換の場を設けている。
- ・放課後子ども教室には多くの在籍児童が参加しているため、小学校とは事業開始前に、それぞれの人間関係をそのまま双方へ持ち込みやすい。小学校とは事業開始前に、毎日、情報交換の時間を設け、必要に応じてケース会議、児童指導、保護者対応など連携・協働して行っている。小学校の様子を知ることで、放課後の子供たちの理解が深まり、そのことが日々の活動に生きてきている。

● 事業を実施しての効果・成果 ●

- ・根小屋小学校は全校児童が100人程度だが、日々、30人を超える参加があり、「一度帰宅すると、友達の家が遠くて遊べない」、「ここにいれば誰か遊び相手がいる」など、子供たち自身が放課後子ども教室に参加することにメリットを感じてきている。
- ・地域からは「元気をもらえた」、「子供たちと挨拶する機会が増えた」、「ここで関わった子供たちがいる他の地域行事にも参加しやすくなった」との声があるほか、地域全体を盛り上げていけるような活動を放課後子ども教室から発信していけたらいいのではないかと提案がある。
- ・小学生だけではなく、中学生たちも巻き込みながら、子供たちの育ちに関わりを持つ場として切れ目のない支援を目指していきたい。

● その他 ●

特定非営利活動法人 相模原市ラグビーフットボール協会（さがみ津久井ラグビスクール）によるラグビー教室の開催。



近隣保育園との交流や日常的に係りを持ってくださる中高生～シニア世代の地域の協力者の皆さん



地域の協力の元で実施している「読み聞かせ」「着付け」「ラグビー」などの活動